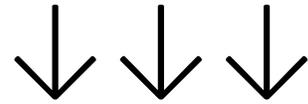




原発事故3年半の現実

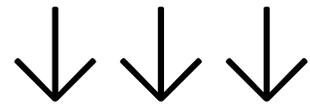
© Ryuichi HIROKAWA

- (1) 原発事故の報道の歪み
- (2) 発信される一次情報の歪み



(3) 歪みを正すための
情報の受け手からのアプローチの提案

- (1) 原発事故の報道の歪み
- (2) 発信される一次情報の歪み



(3) 歪みを正すための
情報の受け手からのアプローチの提案

(1) 原発事故の報道の歪み

① スポンサーの問題

② 国からの圧力 ⇒ 自主規制

③ 記者の知識が乏しい

(1)ー①スポンサーの問題

日本では電力会社はメディアに対してコントロールする力を持っている。

おしどりの具体例

- 電事連による圧力(電気事業連合会)
- 広告会社による圧力(電通、博報堂...)
 - 各地の電力会社による圧力

(1)一② 国からの圧力

http://www.env.go.jp/chemi/rhm/hodo_1403-1.html

[環境省](#) > [保健・化学物質対策](#) > [放射線健康管理](#)

最近の甲状腺検査をめぐる報道について

平成26年3月

環境省総合環境政策局環境保健部

平成26年3月11日(火)に放映されたTV朝日の番組「報道ステーション」において、福島県「県民健康管理調査」のうち甲状腺検査(以下単に「甲状腺検査」とします。)について報道がなされましたが、事実関係に誤解を生ずるおそれもあるので、環境省としての見解を以下のようにお示しいたします。

1. 甲状腺検査の結果と福島第一原子力発電所事故との因果関係について

- 甲状腺検査をきっかけに甲状腺がんと診断された方について、世界保健機関(WHO)や国連科学委員会(UNSCEAR(アンスケア))等の国際機関や、平成26年2月に環境省等が開催した「放射線と甲状腺がんに関する国際ワークショップ」に参加した国内外の専門家からは「原発事故によるものとは考えにくい」とされています。
- その理由としては、
 - これまでに行った調査によると原発周辺地域の子どもの甲状腺被ばく線量は総じて少ないこと(後述)、
 - がんが見つかった方の事故時の年齢は、放射線に対する感受性が高いとされる幼児期でなく、既知の知見と同様、10歳代に多く見られたこと、
 - 甲状腺がんの頻度については、限られた数ではあるが、無症状の子どもに甲状腺検査を実施した過去の例でも同じような頻度で見ついていること(注)、

等があげられており、本報道で中心的に示された、小児甲状腺がんの潜伏期は最短でも4～5年と言われていることのみを持って判断がなされているわけではありませ

(1)一② 国からの圧力



2013年7月18日北茨城市役所



(1)一② 国からの圧力

特定秘密保護法

(1)一③ 記者の知識が乏しい

2011年9月10日東京電力本店



2011年9月10日東京電力本店



(1)―③ 記者の知識が乏しい

2014年4月14日東京電力本店



2014年11月17日東京電力本店



- (1) 原発事故の報道の歪み
- (2) 発信される一次情報の歪み



(3) 歪みを正すための
情報の受け手からのアプローチの提案

(2) 発信される一次情報の歪み

- ① 会見で発表される情報は**事実と異なる、又は事実が隠されている。**
- ② **情報の自主規制。**
- ③ **意図がある情報を拡散。**

(2)一① 会見で発表される情報の歪み

個人情報詳細表示 - 原子力入構者管理システム - Microsoft Internet Explorer

個人情報詳細表示 [redacted] - いま福島第一原子力発電所の仕事をしています | やり直し | 戻る | メニュー |

利用者: 染森 信也 サイト: 本店福島第一安定化センターJヴィレッジ運営部医療支援グループ

個人番号	[redacted]	GN管理番号	[redacted]	中央登録番号	[redacted]	顔写真
氏名(漢字)	染森 信也					 <p>本人確認書類</p> <p>- 未登録 -</p>
氏名(カナ)	ソメモリ シンヤ					
生年月日	[redacted]	性別	男			
日本人・外国人区分	[redacted] 日本人	国籍	JPN: 日本			
現住所(住民票)	[redacted]					
現住所(居住地)	[redacted]					
企業系列	[redacted] 東京電力株式会社					
企業/組織	[redacted] : 本店福島第一安定化センターJヴィレッジ運営部医療支援グループ					
主管/作業主管グループ	[redacted] : 本店福島第一安定化センターJヴィレッジ運営部医療支援グループ					
社員番号	[redacted]					
登録区分	[redacted] : 構内	指定施設	[redacted] : 福島第一原子力発電所			
入所区分	[redacted] 防護区域を除く発電所構内	従事者区分	[redacted] : 従事者 (規制法)			
カード区分	[redacted] : 作業者証	許可証有効期限日	2016/03/31			
電磁健診	実施済・良 : 2012/02/21					
防護教育	受講種別	実施区分	実施日	免除・省略区分		
	a教育	実施	2012/02/10 (平成24年2月10日)	-		

セッション切れ所まで59分58秒の見込みです。

CAPS KANA トラネット

(2)一① 会見で発表される情報の歪み



(2)一① 会見で発表される情報の歪み

東京電力会見発表

- 作業と病気は関係なし
- 福島第一原発の作業は6か月のみ

取材した事実

- 2011年、2012年も福島第一原発で作業
 - その他も除染作業に従事。
 - 80mSVの被ばく線量
 - 大動脈瘤

(2)一② 情報の自主規制

事務連絡
平成23年5月16日

関係試験研究機関
大 学 等
関 係 学 協 会
調中

文部科学省研究振興局ライフサイエンス課
厚生労働省大臣官房厚生科学課

被災地で実施される調査・研究について

今般の東日本大震災による被災地域において、被災者に対する様々な健康調査・研究が実施されているが、これらの健康調査・研究の中には、倫理的配慮を欠き、被災者にとって大きな負担となっているものがある、自治体との調整が十分図られていないもの等が見受けられ、関係学会等からも問題提起がなされているところである。

については、被災地における被災者を対象とした健康調査・研究を実施する場合には、下記について遵守されるよう留意されたい。

記

- 1 「疫学研究に関する倫理指針（以下、疫学指針）」が適用される疫学研究を実施する場合等においては、疫学指針等にとり、当該研究計画について、倫理審査委員会の審査を受け、研究機関の長による許可を得るなど、適切な対応を行うこと。
- 2 被災者を対象とする調査・研究は、当該被災地の自治体と十分調整した上で実施すること。また、調査・研究の結果、必要と考えられる被災者には、適切な保健医療福祉サービスが提供される体制を整備する等配慮すること。

- 3 対象となる被災者に過度な負担とならないよう、対象地域において行われている調査・研究の状況を十分に把握した上で、重複を避け、必要以上に詳細な調査・研究が行われることのないように配慮すること。

【照会先】

文部科学省研究振興局ライフサイエンス課

担当：佐藤、前田、岩田

電話：03-5253-4111（4394, 4108）

厚生労働省大臣官房厚生科学課

担当：眞鍋、古元、丹藤、田中

電話：03-5253-1111（3807, 3813）

（参考）

- ・ [文部科学省（ライフサイエンスの広場）](#)
- ・ [厚生労働省（医学研究に関する指針一覧）](#)
- ・ [社団法人日本精神神経学会（東日本大震災被災地における調査・研究に関する緊急声明文）](#)

被災地で実施される調査・研究について

・2011年5月16日

「被災地における被災者を対象とした健康調査・研究
を実施する場合には、」

「重複を避け、必要以上に詳細な調査・研究が行われ
ることのないように配慮すること。」

(2)一② 情報の自主規制

(別紙)

写

23総合第46号

平成23年4月5日

別記食品小売業関係団体の代表者 宛て

農林水産省総合食料局流通課長

市町村単位等県を分割した区域ごとに行う出荷制限等への対応について（協力依頼）

日頃より、食品流通行政につきまして、御理解と御協力を賜り、厚く御礼申し上げます。

さて、東京電力福島第一原子力発電所事故（以下「福島原子力発電所事故」という。）に関連して、3月21日以降、県域単位で野菜等の出荷制限・摂取制限（以下「出荷制限等」という。）の指示が行われてきましたが、4月4日、原子力災害対策本部において、野菜等の出荷制限等の設定・解除の対象区域については、汚染区域の広がりや集荷実態等を踏まえ、市町村単位等県を分割した区域毎に行うことも可能とされました。

これを受け、同日、原子力災害対策本部長から、千葉県知事に対して、①香取市及び多古町において産出されたホウレンソウ、②旭市において産出されたホウレンソウ、チンゲンサイ、シュンギク、サンチュ、セルリー及びパセリを対象に、出荷制限の指示が行われたところがあります。

農林水産省といたしましては、これまで福島原子力発電所事故を踏まえ、生鮮食料品等の円滑な流通・消費に資する観点から、食品流通関係団体に対して、随時、放射性物質の検査結果や出荷制限等に関する情報をお知らせしてきたところがあります。

つきましては、今回の出荷制限の指示を含めて今後、市町村単位等県を分割した区域毎に、野菜等の出荷制限等の設定・解除の指示が行われることが考えられますので、消費者が科学的・客観的な根拠に基づいて適切に対処していただけるよう、野菜等の販売時における産地名の揭示等について、御配慮をお願いいたします。

なお、このことを貴団体の会員企業に対し、御周知いただくよう、よろしくお願いいたします。

別記

財団法人食品流通構造改善促進機構

財団法人食料農商交流協会

全国水産物商業協同組合連合会

全国青果物商業協同組合連合会

日本果物商業協同組合連合会

全国小売市場総連合会

社団法人新日本スーパーマーケット協会

社団法人日本ショッピングセンター協会

社団法人日本フランチャイズチェーン協会

社団法人日本ボランティア・チェーン協会

日本スーパーマーケット協会

日本小売業協会

日本百貨店協会

日本チェーンストア協会

協同組合セルコチェーン

全日食チェーン商業協同組合連合会

無添加食品販売協同組合

オール日本スーパーマーケット協会

日本生活協同組合連合会

日本チェーンドラッグストア協会

株式会社八社会

食品小売業関係団体の代表者宛て

「消費者が科学的・客観的な根拠に基づいて適切に対処して頂けるよう、野菜等の販売時における産地名の掲示等についてご配慮をお願いいたします。」

グリーンピースの食品測定データ(2011年4月)

TOTAL ACTIVITY ANALYSIS RESULTS FOOD & SOIL SAMPLES FUKUSHIMA AREA



福島県北西部における野菜および土壌の放射線量調査データ

Sample name サンプル名	Date 日付(年/月/日)	Time 時間	Location description 測定場所	Sample type サンプル種類	Act in uSv/h at location 測定地点の線量(uSv/h)	Act in uSv/h at location 測定地点の線量(uSv/h)	Act in uSv/h on sample サンプルの線量(uSv/h)	Density (g/L) 密度(g/L)	Activity (Bq/kg) 測定値(Bq/kg)*	Error (Bq/kg) 誤差(Bq/kg)	Comments
					(at 1 m)	(at 30 cm)	(background 0.16uSv/h)				
V1-20110404 (grinded)	2011/4/4	18:05	南相馬の野菜畑	苜蓿	2	2.7	0.32	610	8790	270	
V2-20110404 (leaves)	2011/4/4	18:10	南相馬の野菜畑	ほうれん草	1.6	1.88	0.35	375	40240	2940	
V2-20110404 (grinded)	2011/4/4	18:15	南相馬の野菜畑	ほうれん草	1.6	1.88	0.35	400	43485	3050	
S1-20110404	2011/4/4	18:30	南相馬の野菜畑	土壌	1.88	2.4	0.29	1200	18625	1480	
V1-20110406	2011/6/4	13:05	福島市郊外の小規模の野菜畑	からし菜	1.66	2.13	0.25	417	19940	765	
V3-20110406	2011/6/4	13:20	福島市郊外の小規模の野菜畑	ほうれん草	1.88	2	0.48	270	152340	18455	
V2-20110406	2011/6/4	13:15	福島市郊外の小規模の野菜畑	小松菜	1.66	2.07	0.33	211	73775	4585	
V4-20110406	2011/6/4	13:25	福島市郊外の小規模の野菜畑	ニラ	1.66	2.07	0.25	304	20295	950	
V5-20110406	2011/6/4	13:30	福島市郊外の小規模の野菜畑	ブロッコリ	1.66	2.11	0.2	196	16180	845	
S1-20110406	2011/6/4	13:40	福島市郊外の小規模の野菜畑	土壌	1.66	1.46	0.28	1076	17910	1155	Surface soil down to 5cm
V6-20110406 (spring onion 1)	2011/6/4	16:00	福島市の直売所	ネギ	1		0.21	433	3405	180	Local food (farmer 1)
V6-20110406 (spring onion 2)	2011/6/4	16:00	福島市の直売所	ネギ	1		0.22	581	1840	130	Local food (farmer 2)
S1-20110407	2011/7/4	12:30	福島県北西部の伊達市原町2区の木田	土壌	2.74	6.11	0.28	787	55145	7790	
S2-20110407-I	2011/7/4	15:50	新井村北部の木田	土壌	6.92	9.78	0.26	1360	30950	6455	10x10cm, 3cm layers. Top wet soil
S2-20110407-II	2011/7/4	15:50	新井村北部の木田	土壌	6.92		0.25	1028	10195	405	10x10cm, 3cm layers. Wet soil
S2-20110407-III	2011/7/4	15:50	新井村北部の木田	土壌	6.92		0.16	1103	1450	75	10x10cm, 3cm layers. Wet soil
V1-20110407	2011/7/4	17:40	福島市のスーパーマーケットで購入した伊達産白菜	ニラ			0.15	610	620	225	
V2-20110407	2011/7/4	17:40	福島市のスーパーマーケットで購入した茨城産キャベツ	キャベツ			0.14	508	830	85	
V3-20110407	2011/7/4	17:40	福島市のスーパーマーケットで購入した福島産ズッキーニ	ズッキーニ			0.14	409	190	85	
V4-20110407	2011/7/4	17:00	福島県田村町船引町の有機栽培菜	小松菜	0.37		0.37	303	23215	800	
V5-20110407	2011/7/4	17:00	福島県田村町船引町の有機栽培菜	有機野菜	0.37		0.29	252	35600	995	
V1-20110408	2011/8/4	16:00	郡山市北西部約10キロの本宮町の小規模菜園	ブロッコリ	3.2		0.27	428	18845	545	
V2-20110408	2011/8/4	16:00	郡山市北西部約11キロの本宮町の小規模菜園	カリフラワー	3.2		0.36	469	25180	1175	
S1-20110408	2011/8/4	16:00	郡山市北西部約12キロの本宮町の小規模菜園	土壌	3.2		0.26	1110	32980	3680	Top soil next to broccoli
S2-20110408	2011/8/4	16:00	郡山市の北西部約10キロの小規模菜園	土壌	3.4	0.2	1.5 - 3.7		No readings, as maximum limit measurement was exceeded.		Top soil in dry drainage

* 測定値は放射線物質の数量、放射性核種の特定はしていません。

(2)一③ 意図がある情報を拡散



福島住民

「故郷を愛する価値観」

⇒自分たちの手で除染して住み続けたい

世界に原発を推進するために、
どうやって住民にリスクを説明していくか。

福島原発事故のリスクを住民が受け入れ、
「除染して住む」と発信することは重要。

安東量子氏のスライド

« After the nuclear accident, raging voices over Fukushima left behind those of us who live in Fukushima. Everybody wanted to have their say disregarding what we think and feel. I could not accept that. I even felt angry. The reason why I started ETHOS in Fukushima comes from the conviction that it is we who should narrate our life. In the midst of the turmoil, ICRP111 was the only support for our mind ».

Ryoko Ando, Iwaki city

Leader of the Ethos in Fukushima NPO

ethos-fukushima.blogspot.com/

様々な住民団体、意見

2011年8月26日「負けねど飯館記者会見」



「学校給食における地産地消の取り組みを辞めることを求める要望書」提出後の会見
2013年11月27日



原発事故に関する様々な裁判の原告団、団体

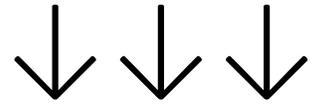


さて、

この報道の歪み、

情報の歪みは正せるのか？

- (1) 原発事故の報道の歪み
- (2) 発信される一次情報の歪み

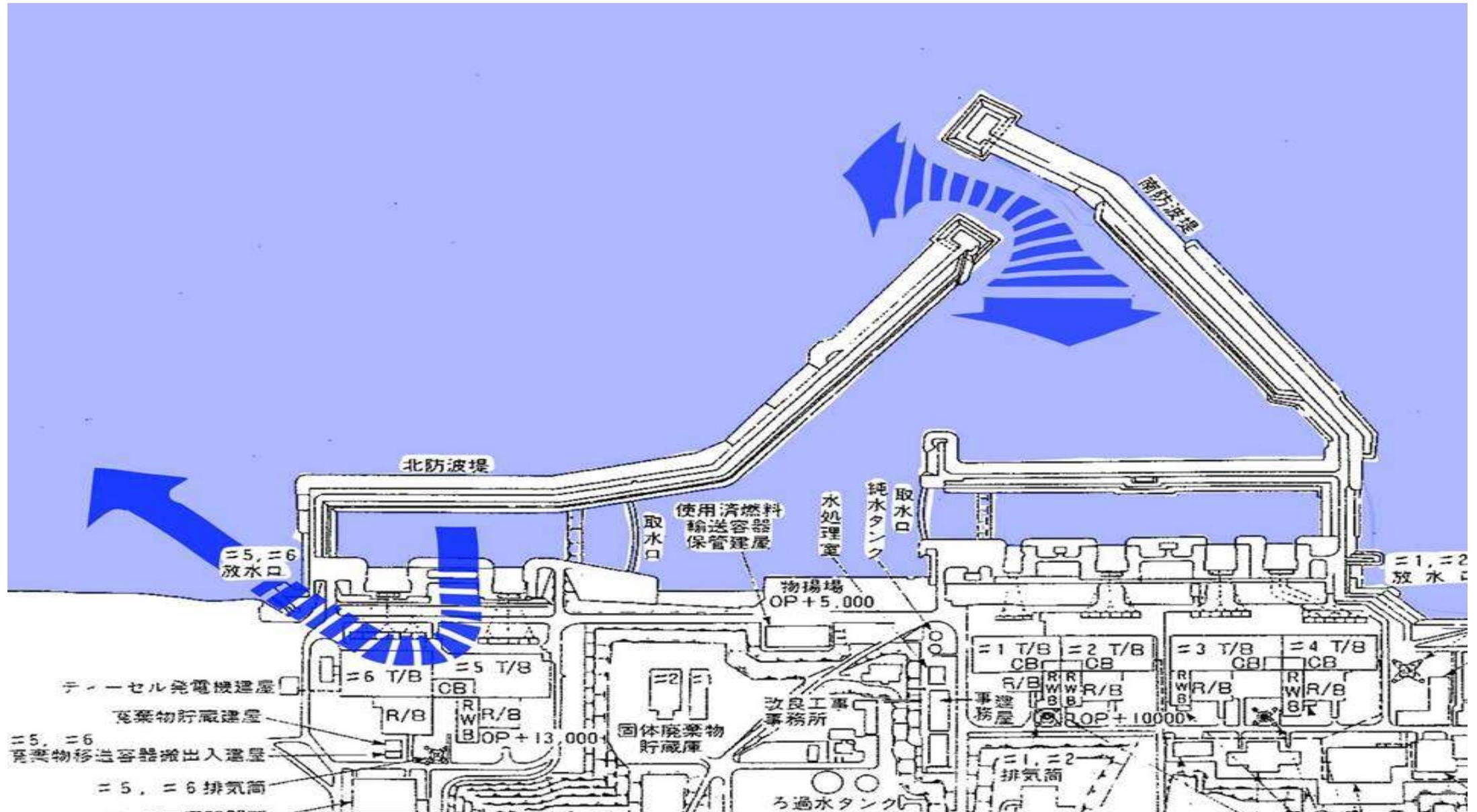


(3) 歪みを正すための
情報の受け手からのアプローチの提案

私たちは舐められている。

そして実際にはあまり賢くないかも！！

安倍総理の汚染水ブロック発言



被ばく者は事実を知る権利がある。